

平成21年12月16日

報 道 資 料



平城遷都  
1300年祭

連 絡 先	奈良県文化観光局ならの魅力創造課 課長補佐 中西
	TEL 0742-27-1515 FAX 0742-27-7744

瓦幡（モニュメント）の寄贈に伴う除幕式  
の開催について

平城遷都1300年祭が開催される2010年に向け、「古都奈良」に来訪者を迎える瓦幡（モニュメント）の寄贈を受けましたので、その除幕式を開催します。

記

- 日時  
平成21年12月24日(木) 11時10分～11時30分
- 場所  
奈良市登大路町(詳細地図参照)
- 寄贈者  
国際ソロプチミスト奈良ー平城

## 「古都奈良」に来訪者を迎える瓦幡（モニュメント） 趣旨

「幡」は、大和朝廷で儀式や祭礼の折りに、堂宇の前に高く吊り下げられた装飾道具であり、幡を掲げると様々な功德が現れると説かれている。

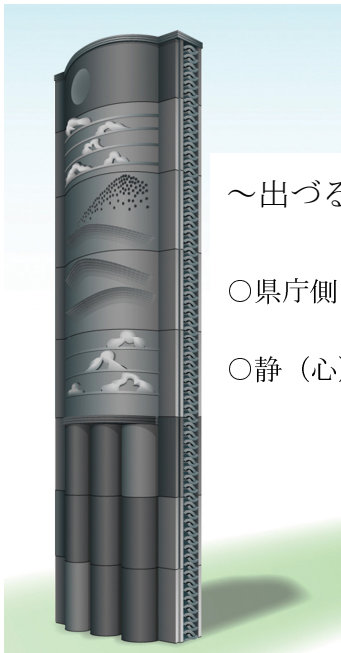
古都奈良探訪の入り口に当たる登大路に「幡」を建て、奈良を来訪するすべての人々に奈良を心のふるさととする気持ちが表れるように願って、登大路のゲートとした。

### 《デザイン》

(株)クリエイティブ フォーラム 岩井珠恵

作者がデザインを考えながら興福寺の境内を歩いている時、南円堂の前から三笠山を振り返ると三笠山の上に白い月（昼間）が出ていた。

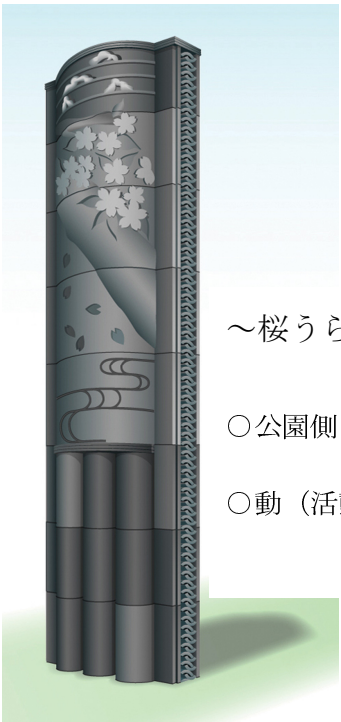
→奈良といえば山の上に出る月と桜というイメージに基づいて、古歌にもあるような奈良の美しい風景を取り入れました。



～出づる月～

○県庁側（歩道北側）に設置

○静（心）のイメージ



～桜うらら～

○公園側（歩道南側）に設置

○動（活動）のイメージ



なお、瓦の製作に当たっては、奈良時代からの瓦製作技法をいろいろと用いて表現するため、山本瓦工業の山本清一氏にお願いした。

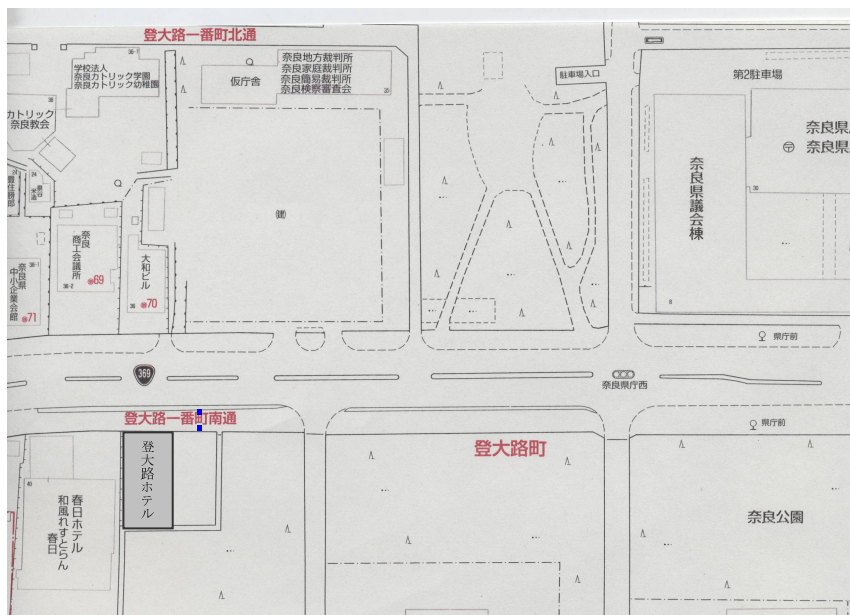


## 近鉄奈良駅方から望んだ瓦幡（モニュメント）イメージ風景



※ 登大路ホテル西側歩道上に設置

## 瓦幡（モニュメント）設置場所



※ 瓦幡（モニュメント）設置場所：「■」